

## 月間三賞受賞

### <努力賞>

皆田 綾子さん…服薬時、咽込まず、きちんと服薬する事ができるようになりました。  
 大山 真言さん…コインランドリーの利用ができるようになりました。  
 永田 三十六さん…ストックヤードに向かう日は、職員より早く出発準備が出来るようになりました。  
 川畑 美葵さん…作業時、機織りだけでなく、洗濯の作業等時間一杯取り組む事ができています。  
 伊元 サチ子さん…部屋の片付けに取り組んでいます。

### <親切賞>

中江 公三さん…同室者が手術後、入浴ができなかった為、清拭を手伝ってくれました。  
 用 得美さん…洗濯が終わった事を教えてくれます。  
 満林 アツ子さん…友達の手紙を用意したり、お椀の蓋を開けてくれたりしています。  
 政 みさ子さん…お友達の食器を下げてくれています。

### <奉仕賞>

岩切 正さん…リビングの掃除に取り組んでいます。

## 生活介護 活動班紹介 ~サポート班~

生活介護、日中活動の一つとして、サポート班は、男性利用者14名、女性利用者8名で構成され、軽運動やレクリエーションを通して、ADLの向上や維持を図る事を目的に取り組んでいます。現在は、ウォーキングを中心にしていますが、社会全体の生活環境がバリアフリーに整備され、安全で便利な生活になっている反面、階段を上る、段差を上げる動作が減り、下肢の筋力低下に繋がる傾向にあると思われます。私もですが、他の職員の方々も、何もない所でつまずく事もあり、お互いに照れ笑いをしています。利用者がつまずいてしまうと転倒の危険性もある為、しっかりと足を上げて歩く事の大切さを実感しています。

利用者の皆さんにも、ウォーキングやレクリエーションを通して、楽しみながら身体を動かし、少しでも長く健康を維持していけるよう、取り組みを促していきたいと思っております。(記事:徳)



## 家族との…

ほっこり  
ひとコマ。



## 6月の愛の浜園

外出支援はじまりました!!



これから少しずつ  
楽しみが増えますように…

## メジロの親子

やさしく見守って…

6月29日朝、出勤すると女性棟入り口のプランターに2羽のメジロが止まっていた。

「あら、こんなところに珍しい！」その時はそう思って仕事に入りました。その後もメジロはその場を行ったり来たりしています。めったに見られないので、職員も利用者も「可愛い！」と喜んでいましたが、よく見ると様子がおかしいのです。2羽のメジロが交替で口に虫をくわえてやって来ます。そして、もっとよくよく見ると、2羽のメジロが行く先には小さな雛がいるのです。親指ほどの小さな雛です。巢から落ちたのでしょうか。飛ぶ練習をして迷い込んだのでしょうか。雛は飛ぼうとしますがすぐに地面に落ちてしまい、かろうじてプランターに植わっているコリウスの枝に戻ってしまっています。2羽のメジロは次々に雛に餌を運んでおり、私たちはただ見守ることしかできず、胸が熱くなるばかり。そんな中、その姿を見た短期入所の利用者さんが、「親の愛ってすごいね。」とほそっと言い、その言葉にまたほろり。その日の夕方帰る時は、親子はまだそこに居ました。「無事でいてくれますように。」そう思いながら帰りました。翌30日、親子の姿はありませんでした。元気で飛び立っていますように。小さな命に大きなことを教えてもらった一日でした。(記事:松原(充))